

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町民の皆様には、日ごろから町政への温かいご支援ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は消費税が17年ぶりに8%へと増税され、一時的に景気は落ち込むものの、夏場には持ち直すとの見込みでありました。しかしながら、景気回復は低迷し昨年11月には10%への増税先送りが決定しました。さらにはアベノミクスの影響で急激な円安が進むなど、経済に大きな影響を与えた年でした。本年も政府のデフレ経済克服に向けた政策により、日本経済もしばらくは不安定な状況が継続すると思われます。大津町におきましても今後さまざまな影響を想定し、町として安定した財政基盤を築くよう努力してまいります。

昨年9月には御嶽山が噴火し、登山客など50人以上の方が犠牲となりました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしますとともに、関係者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。私たちの身近でも、阿蘇山の噴火により降灰被害が発生するなど、近年になく自然の恐怖を感じさせられています。大津町においても、平成24年の九州

あけましておめでとうございます。

平成27年を迎え、議会を代表して謹んでごあいさつ申し上げます。町民の皆様をはじめ各方面におかれましては、平素から町議会に對しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、4月の消費税8%増税に始まり、11月に10%への増税が先送りになったことに至るまで、なにかと税について議論が巻き起こった一年でした。政治についても国民の信を問うというかたちで、年末には衆議院が解散し総選挙が行われるなど、終盤になって慌しく駆け去っていった一年という印象でした。また、毎年のことですが、自然の猛威の前に立ちすくんだ一年でもありました。8月には広島市北部で豪雨による大規模な土砂災害が発生。9月には長野県の御嶽山が7年ぶりに噴火するなど、自然災害の恐ろしさに身を震わせた年でもありました。被災に遭われた多くの方々をお見舞い申し上げますとともに、自然災害にしっかりと対応できるまちづくりを目指して議会として何ができるかを、今後も行政や町民

北部豪雨のようにいつ大きな災害が発生するとも限りません。そのような中で、昨年は防災士資格取得希望者に対する支援を行い、町内で新たに44人の防災士が誕生しました。防災士の皆様には地域の自主防災組織のリーダーとして活躍していただくようお願いし、町としても防災士や町消防団をはじめ各組織と連携し、町民の皆様がより安全安心に住むことができる町づくりを目指します。

また、昨年度は大津町の顔であるJR肥後大津駅が開業100周年を迎えました。町としても以前よりJR肥後大津駅周辺の整備を進めてきましたが、今年3月には駅北側に延びる道路「駅前楽前線」が開通します。古くは参勤交代の要所として栄えてきた大津町ですが、現代の交通網を整備することで、新たに人や物流の拠点として、さらなる発展の可能性を見出していきたいと思っています。

教育の面では、昨年1月に新教育長が就任し新たな体制で迎えた1年でした。町内の子どもが増加や家庭環境の変化といった問題に対し、大津保育園分園の開所や、大津北中の校舎増築、コミュニティスクール事業など

の皆さんと一緒に、しっかりと考えていきたいと思っています。

そうした昨年でしたが、喜ばしいことや誇らしいことも多々ありました。2月のソチオリンピックでは、日本国中に多くの感動が届けられましたし、6月には、富岡製糸場が世界文化遺産に登録されました。また、青色発光ダイオード(LED)の開発で、日本人科学者たちがノーベル物理学賞を受賞したことなども記憶に新しいものです。そんな新しい息吹や力強さを感じた一年において、大津町でも新たな期待に胸を膨らませることが数多くありました。1月には齊藤教育長が新たに就任されましたし、4月には機構改革が行われ、役場の組織が新たなものとなりました。3月には迫井手の圃場整備地内に、ハウスの野菜の育苗生産を行う企業と進出協定が締結されましたし、10月には大津保育園の分園が開所となり、懸案である待機児童対策に新たな一手も示されるなど、明るいニュースも多い年でした。

我々大津町議会も、議会活性化への取り組みを着実に進める中で、5月には初の議会報告会を開催し、議会と町民皆さんとの新しい接点づくりを実現させ

を進め、今年4月には若草児童学園跡地に新しい保育園も誕生する見込みです。さらには町内小中学校の全教室にエアコンを設置するなど、教育環境改善へ向けてまた一歩前進することができました。しかしながら、残された課題はまだ多く、町民皆様のご意見ご協力をいただき、町の宝である子どもたちの成長のため尽力してまいります。

平成26年は、ソチオリンピックやサッカーブラジルワールドカップなど、日本を大いに盛り上げたニュースも数多くありました。大津町においても子どもから大人までたくさんの方が、スポーツや文化・芸術など幅広い分野でご活躍されました。本年もより多くの方が輝けるよう、町としても支援できる環境を作っていきたいと思っています。

最後になりますが、今後も町民皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

大津町長 家人 勲
副町長 徳永 保則
教育長 齊藤 公拓

ました。6月にはタブレット端末を導入し、議会のICT(情報通信技術)化を一步前進させました。昨年は地方議会に対してこれまで以上に厳しい視線が注がれた年でもありました。そういった経緯や町民皆さんのお気持ちを十分に踏まえ、今後さらに大津町議会がその存在を強く発信し、開かれた透明性のある議会づくりに邁進していかねければならないものと考えます。本年も、町民皆さんの声を町政に届けるために、大津町議会一丸となって、その責を果たしていく所存です。

最後になりますが、町民皆様の今後益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、新年のごあいさつと致します。

大津町議会議長 大塚龍一郎
町議会議員

金田 英樹 豊瀬 和久
佐藤 真二 松田 純子
桐原 則雄 山本 重光
本田 省生 府内 隆博
吉永 弘則 源川 貞夫
坂本 典光 手嶋 靖隆
永田 和彦 津田 桂伸
荒木 俊彦

平成27年
新年の
ごあいさつ

